

農学部・農学研究科の学生・教職員の皆様へ ≪東北大学行動指針(BCP)レベル1≫

現在、国・宮城県・仙台市ともに新規感染者数は、高止まりしており、引き続き予断を許さない状況にあります。まん延防止等重点措置などが発令される地域もなく、今後は感染対策と研究教育活動の両立をさらに進展させ、それぞれの活動をさらに活性化させていく段階に移行していくことになります。農学部・農学研究科でも健康観察対応が必要な学生の数は国・県・市の状況と同様の傾向ではありますが、引き続き感染拡大防止対策を行いながら、5月23日から「新型コロナウイルス感染拡大防止のための東北大学の行動指針(BCP)」を、レベルを2から1に引き下げ、諸活動を継続することとします。

行動指針のレベル1への引き下げ後も、引き続きワクチン接種の有無に関わらず、正しいマスクの着用、徹底した換気、密の回避、手洗い、飲食時の黙食などの基本的な感染対策と日々の健康観察の実施を徹底することに変更はありません。

今後の農学部・農学研究科の諸活動については、これまで同様に研究室・部屋単位、個人単位で基本的な感染対策の徹底を継続するとともに、下記の行動指針レベル1に則した対応をお願いします。

皆様ご自身の感染を防ぎ、また感染拡大防止にご協力いただくために以下のお願いをさせていただきます。

段階	目安(例示)	研究活動	授業等	出張	学内会議	学生の課外活動	催事・イベント等 (本学が開催するもの)	事務体制
0		通常	通常	通常	通常	通常	通常	通常
1	国内で感染が認められる。	各部署の管理体制による感染防止対策を徹底することで、研究活動を行います。	十分な感染防止対策を施した上で、対面授業にオンラインを併用して授業等を実施します。	出張先の感染状況を確認するなど注意が必要です。	感染拡大に最大限の配慮をして、対面会議を行います。オンライン会議も活用します。	十分な感染防止対策を施した上で、課外活動がイドラインに基づき、課外活動を実施できます。	感染拡大に最大限の配慮をして、催事等開催時のガイドラインに基づき、催事・イベント等を実施できます。	感染拡大に最大限の配慮をして、テレワークも活用します。
2	国から宮城県以外で緊急事態宣言が発令されるなど一定の行動制限を付ける。	各部署の管理体制による感染防止対策を徹底することで、研究活動を行います。	十分な感染防止対策を施した上で、対面授業とオンラインを併用して授業等を実施します。	感染が広がっている地域への不要不急の出張は自粛します。	感染拡大に最大限の配慮をして、対面会議を行います。オンライン会議を推奨します。	十分な感染防止対策を施した上で、課外活動がイドラインに基づき許可を得た場合は、課外活動を実施できます。	原則オンラインただし、催事等の性質上対面式での実施を必要とするもので、部署長の許可を得た場合は、催事等開催時のガイドラインに基づき対面式で実施できます。	感染拡大に最大限の配慮をして、ほぼ通常の勤務を行います。テレワークも活用します。
3	国から宮城県に緊急事態宣言が発令されるなど一定の行動制限を付ける。	各部署の管理体制による感染防止対策を徹底することで、研究活動を行うことができますが、現場での滞在時間を減らし、可能な場合は、自宅での活動を推奨します。	原則オンラインにより授業を実施します。定期試験や学位論文審査、実技・実験・実習、及び学部1,2年次の学生を対象とした授業等対面での実施が必要な場合は、十分な感染防止対策を施した上で、対面により実施します。	業務上やむを得ない場合で、部署長の許可を得た場合のみとします。	対面会議は必要最小限とし、原則としてオンライン会議を推奨します。	十分な感染防止対策を施した上で、課外活動がイドラインに基づき許可を得た場合は、課外活動を実施できます。	原則オンライン	感染拡大に最大限の配慮をしつつ、業務の性質に応じて、テレワークを推奨します。

●警戒情報
 (警戒情報を逐次記載します。)

【授業等】

○令和4年5月23日(月)以降の授業等について

5月23日(月)以降に行われる農学部・農学研究科の専門教育科目の授業は、十分な感染防止対策(＃)を施した上で、対面授業にオンラインを併用して授業等を実施します。各授業の開講方法については、各授業担当教員から連絡を受けてください。オンライン授業については、下記のサイトをご参照ください。
<https://olg.cds.tohoku.ac.jp//forstudents>
 対面の授業等に出席する際には、QRコードからの入退室の記録を徹底してください。

新型コロナウイルスの健康観察等によりやむを得ず授業等を欠席する場合には、学生の不利益にならないように配慮しますので、各自授業担当教員に連絡してください。

#BCPレベル1～3における授業実施の取扱い・対応ガイドライン(2021.9.17)
 下記ウェブサイトの「授業について」の項目をご参照ください。
<https://www.bureau.tohoku.ac.jp/covid19BCP/student.html>

【研究活動】

○対策本部の許可を受けた管理運営体制の下で研究活動を遂行してください。

https://www.agri.tohoku.ac.jp/jp/contents/uploads/2022/05/s20220523_BCP.pdf

なお、取扱いは下記のとおりになります。

・「3密」を防ぐため現場での滞在時間を減らし、可能な場合は、自宅での活動も活用してください。

・分野主任等は、構成員の健康状態等を把握し、分野内での感染拡大防止に努めてください。

【学生の活動】

○旅行、帰省、出張、外国人留学生の母国への帰国：移動先の感染状況を確認するなど注意が必要です。

※県外へ移動する場合（県外から宮城県内への異動を含む）のフォームへの登録は不要とします。

※外国人留学生の一時帰国は、帰国することを決めたら速やかに教務係・総務係へご相談願います。

○アルバイト：「3密」環境となるアルバイトには従事しないでください。

○食事会、会合等：「3密」環境となる会合や歓談・イベント等への参加は自粛してください。居室での飲食は密に気をつけて黙食を心がけてください。

○課外活動：十分な感染防止対策を施した上で、課外活動ガイドラインに基づき実施してください。

【課外活動について】

<https://www.bureau.tohoku.ac.jp/covid19BCP/student-activities.html>

【教職員の活動】

○会議：感染拡大に最大限の配慮をして、対面会議を行います。オンライン会議も活用してください。

○出張：5月23日以降は、フォームへの届出は不要とします。実施にあたっては出張先の感染状況を確認するなど注意をしてください。

○食事会、会合等：「3密」環境となる会合や歓談・イベント等への参加は自粛してください。また、学内においても、青葉山コモンズや交流スペース等の着席制限を引き続き遵守してください。居室での飲食は密に気をつけて黙食を心がけてください。

分野主任教員等におかれましては、責任ある行動について重ねて所属学生・教職員へご指導願います。

○学外者の訪問：5月23日以降は、フォームへの登録は不要とします。

実施にあたっては、訪問者の地域の感染状況に注意してください。適宜オンライン会議も活用してください。

【農学分館・青葉山コモンズ】

○農学分館：

平日9:00～20:00までの開館となります(土日・祝日 閉館)。

※閉館時特別利用(無人開館)は、当面の間休止いたします。

○青葉山コモンズ：開館時間は以下のとおりです。

平日8:00～20:00までの開館となります(土日・祝日 閉館)。

【体調不良時の対応等】

農学部・農学研究科ホームページ

<https://www.agri.tohoku.ac.jp/jp/news/covid-19/>

※体調不良者は速やかに登校・出勤を控え、体調が改善するまで記録するとともに、以下のグループフォームにより報告を行ってください。当分の間、健康管理記録用紙に体調を記録し、保管してください。

※自身に体調不良がない場合でも同居の家族等が体調不良の症状がある、又はPCR検査対象になった場合は、速やかに職場への出勤を控え、以下のグループフォームにより報告を行い、自宅待機・テレワークに切り替えてください。

体調不良時の連絡フォーム

【事務体制】

- 感染拡大に最大限の配慮をしつつ、ほぼ通常の勤務を行います。テレワークも活用します。出勤する場合は、「3密」環境とならないよう、事務室と会議室に分かれて業務を行います。
- 教務の窓口：10時～12時30分、13時30分～16時
 - ※ 各種お問い合わせについては、可能な場合は窓口への来訪ではなく、メールや電話にて対応をお願いいたします。
- 《お問い合わせ先》
 - ・講義、学生生活、オリエンテーション、奨学金、証明書等に関すること
教務係：agr-kyom@grp.tohoku.ac.jp, 022-757-4007・4008
 - ・TA・RA・AA等に関すること
総務係：agr-syom@grp.tohoku.ac.jp, 022-757-4004
 - ・日本学術振興会研究員に関すること
研究推進担当：agr-kensui@grp.tohoku.ac.jp, 022-757-4002
- 提出書類等はメール・事務室前のBOXをご活用ください。

【その他】

- 農学系総合研究棟、青葉山コモンズへの入館の際は、感染持ち込みと拡散を阻止するために、必ずマスクの着用及び手指の消毒を行ってください。
- 熱中症対策のため、暑い時期の屋外では、密になって会話を除いて適宜マスクを外しても構いません。会話時には距離を取るか、マスクをしてください。
- 感染者の個人情報保護と人権を尊重することは社会的な常識であることを忘れないでください。
- 農学部・農学研究科では新型コロナウイルス感染症対策本部、新型コロナウイルス対応タスクフォースを設置しておりますので、新型コロナウイルス感染症に関することで困っていることや不安なことがありましたら下記アドレスに連絡、問合せ願います。
農学研究科新型コロナウイルス対応タスクフォース：agr-ri@grp.tohoku.ac.jp

皆様の健康を守り、安心して生活が送れるように対策を練り、また不安を取り除くために情報発信にも努めてまいりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

令和4年5月23日

農学部・農学研究科 新型コロナウイルス感染症対策本部
本部長・学部長・研究科長 北澤春樹
新型コロナ対応タスクフォース
代表 原田昌彦